

社会科（歴史的分野）調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> ○○○○ ○○○○ </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解できるように、どのような工夫が見られるか。 ○諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けられるように、どのような工夫が見られるか。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などについて、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。 ○思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うために、どのような工夫が見られるか。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養うために、どのような工夫が見られるか。 <p>＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分野の学習において課題（問い）を設定し、その課題（問い）の追究のための枠組みとなる多様な視点に着目させ、課題を追究したり解決したりする活動が展開できるように、どのような工夫が見られるか。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習効果を高めるために、資料には、どのような工夫が見られるか。 ○資料の配置、資料と本文との関係には、どのような工夫が見られるか。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○学習効果を高めるために、表記・表現（見出し、記号、用語、脚注等）に、どのような工夫が見られるか。 	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">新しい社会 歴史</p>	<p style="text-align: center;">2</p> <p style="text-align: center;">東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きを1単位時間とし、ページに導入資料、学習課題が記されている。また、語句の意味を確認するための索引ページが記載されている。 ○学習した知識を活用する「チェック&トライ」が設けられている。また、身に付けた技能を活用するため、「確かめよう」のコーナーが設けられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○章末「まとめよう」では、ステップチャートやフィッシュボーン図等の思考ツールを活用した学習活動が用いられている。 ○章末の「ふり返ろう」では、探究課題を確認しながら、歴史的な見方・考え方を働かせて思考・判断できるように工夫されている。 ○1単位のまとめ「チェック&トライ」では、学習内容の説明や要約ができるように設問の工夫がされており、自分の言葉で表現できる工夫がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1単位時間の学習の流れを分かりやすく視覚的にデザインし、全ての生徒が見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。 ○生徒が主体的に学習に取り組めるように人物コラムを豊富に掲載し、人物を中心とした小学校からの歴史学習との接続が図られている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の導入に小学校の振り返りとグループでの協働的な活動が設けられ、単元全体を貫く「探究課題」を立てて、学習に見通しをもたせるように工夫されている。 ○章末「まとめの活動」では、「探究のステップ」が設けられ、見開きごとの活動が段階的に「探究課題」の解決へとつなげられるように構成されている。 ○「みんなでチャレンジ」では、個人とグループ活動の相互作用で学びを深め、積極的に社会参画したり、他者と協働したりしながら、よりよい社会を築こうとする意識や態度を養えるように工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの上部に学習意欲を高めるための導入資料や探究の中心となる資料が写真等で大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料には、出典・所蔵のほか、資料の大きさが記されている。 ○DマークやQRコードを掲載し、インターネットを使った学習ができるように工夫されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本文等には、UDフォントが使用されている。 ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習内容の定着のための2段階の課題が示されている。 ○見開きの右端に時期を示すスケールが入れられている。また、地理や公民の学習と関連が深い内容には、関連マークが付けられている。 ○本文は敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○各章ごとに「①課題をつかむ」、「②課題を追究する」、「③課題を解決する」というステップが構成されていて、それを基に学習を進められるよう工夫されている。また、「主体的・対話的な学びから深い学びにつなげる活動・コーナー」等で学習を深めることができるように配慮されている。 	

書名 項目	<h2 style="text-align: center;">中学社会 歴史 未来をひらく</h2>	<div style="text-align: center;">17 教出</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見開きを1単位時間とし、ページに導入資料、学習課題が記されている。また、語句の意味を確認するための索引ページが記載されている。 ○1単位時間の中に「確認！」が設けてあり、学習に必要な知識を身に付けやすくなる工夫がされている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○導入資料等に「THINK！」が設けてあり、主体的に考え、表現するための工夫がされている。 ○見開きのまとめ「表現！」では学習内容を自分の言葉で説明し、対話することで、思考を深め、表現できるよう工夫されている。 ○章末の「HOP・STEP・JUMP」では学習した内容を判断して活用する能力を高め、歴史的な見方・考え方を深める工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「歴史学習の終わりに」のページでは社会的な課題の解決に向けてSDGsの目標を参考にテーマを設定する等の工夫がされている。 ○ページの下段には、そのページの学習内容と関わりのある他分野の学習内容を示して、生徒が自発的に学習に取り組みやすいように工夫されている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各章の導入「学習のはじめに」では、その時代を象徴するような資料とそれに関わる問いが示され、見通しをもって学習が進められるように工夫されている。 ○本文とは視点を変えて捉え直す「特設ページ」が設けられ、現代社会の諸課題と照らし合わせ、多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ○巻末「歴史学習の終わりに ～歴史を振り返って、未来を構想しよう～」では、これからの社会を築いていくため、自分たちには何ができるかを考察・構想し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○見開きの上部に学習意欲を高めるための導入資料や探究の中心となる資料が写真等で大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。小学校での既習事項を生かせる工夫がされている。 ○教科書とウェブサイトをリンクさせ、学習に役立つ様々な情報を得ることができる「まなびリンク」が設けられている。 </p>	
表記・表現	<p> ○本文等には、UDフォントが使用されている。 ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習内容の定着のための2段階の課題が示されている。 ○見開きに「時代スケール」として学習する時代の範囲を色で表し、小学校で学習した人物・中学校で学習する人物が識別できるように工夫されている。 ○本文は敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面は、AB判が採用されている。 ○教科書全体を通して、見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすい内容となっており、より深い理解ができるように工夫されている。また高等学校での近現代史中心の「歴史総合」に向けて、通史学習の充実が図られていて、小学校・中学校・高等学校の学びのつながりが意識できるように配慮されている。 </p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">社会科 中学生の歴史</p>	<p style="text-align: center;">4 6</p> <p style="text-align: center;">帝 国</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題が記されている。また、知識の定着を図るために「確認しよう」が見開きのまとめに設けられている。 ○「地域史」というコラムを通じて、多面的・多角的に歴史を学ぶ工夫がされている。また、「解説」が設けられていて、知識の定着のための工夫がされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○章のはじめに設けられた「タイムトラベル」では、資料から判断して、論理的に説明できるよう工夫されている。 ○見開きのまとめにある「説明しよう」では、1単位の学習をまとめ、習得した知識を活用し、自分の言葉で表現できるように工夫されている。 ○章のまとめにある「学習を振り返ろう」では、歴史的な見方・考え方を働かせ、表現・説明することで学びを深められる工夫がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元のはじめに、各時代の政治・経済・文化の内容について、イラストで視覚的に示すことによって生徒が見通しをもてるように工夫されている。 ○地図とイラストによる世界地図「世界とのつながりを考えよう 地図編」では、日本の歴史的な事象や人物が世界の中に位置付けて見られるように提示されている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「章の問い」、「節の問い」、「見開きの問い」（学習課題）と単元のまとまりを見通し・振り返ることで課題解決的な学習、深い学びにつなげられるように工夫されている。 ○「学習を振り返ろう」では、見開きから節、節から章へと段階的に振り返りを行い、学習を積み重ねて課題追究ができるように構成されている。 ○巻末「これからの社会を構想しよう」への準備として、各章で「現在・SDGs」とのつながりを考え、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの上部に学習の中心となる資料と本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料に吹き出しを付け、学習の手掛かりが示されている。 ○QRコードを読み込むことで、「タイムトラベル」コンテンツにアクセスしたり、学習の理解を助ける動画等を閲覧できたりするように工夫されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本文等には、UDフォントが使用されている。 ○1単位時間の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見通しをもつための学習課題と学習内容を確認・説明するための課題が二つ示されている。 ○見開きの右端に「時代インデックス」が掲載され、巻頭の日本の歴史年表・巻末の世界史年表と照らし合わせて確認するように工夫されている。 ○本文は敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○全体を通して、「小学校・地理・公民・他教科の関連」を「小・地・公の関連アイコン」で示すことで既習事項やつながりを確認することができる。また、その時代の舞台の解説や現在との共通点や違いを確認できるので、多面的・多角的な視点をもって学習に入ることができるように配慮されている。 	

書名 項目	<h1>中学歴史 日本と世界</h1>	8 1 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">山 川</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、本文、補足資料が記されている。また、世界史と日本史の関連が多く、歴史の流れをつかめるように記載されている。 ○見開きのまとめ「ステップアップ」では、1単位時間で行った内容を整理し、歴史的知識の定着が図れる構成となっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域からのアプローチ」では、資料やグラフから自分の考えを表現させ、歴史的事象を多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ○「歴史へのアプローチ」では、1単位時間で行う内容の中で、テーマを絞ることで、歴史的な見方・考え方を深められるよう工夫がされている。 ○章末「まとめ」では時代全体を俯瞰して考えるための問いかけがあり、歴史的な見方・考え方を働かせて、考えを深められるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きのページ内に様々なパターンの発問を提示し、図やグラフ等資料を活用して考察させ、生徒の主体的な学びを促す工夫がされている。 ○高等学校の歴史学習とのつながりを意識して、歴史的事象の要因と結果を詳細に記述し、コラムと合わせてより深い理解を出来るように工夫されている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しをもてるように、各章の冒頭に視覚的に歴史の流れをつかめるような資料を用いたり、見開きの冒頭に学習課題が明示されたりしている。 ○「身近な地域を調べよう」では、実際の中学生を想定し、調査の順序や注意事項を示して、生徒が主体的に課題を追究することができるように工夫されている。 ○「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」では、史料の細部をクローズアップしたり、発掘調査の結果を踏まえたりすることで、様々な角度から課題を追究できるように工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの上部に学習の中心となる資料と本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料に発問を付け、資料を読み取る視点が示されている。 ○QRコードを付し、博物館・資料館のホームページサイトや動画を見る等、課題を追究した学習ができるように工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○地図・グラフ等は、UDに配慮されている。 ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と課題追究のための「ステップアップ」の発問が示されている。 ○各章のはじめに、章で学ぶ時代の日本と世界の出来事の帯年表が掲載されている。また、章に関係する写真が上下に分けて時代順に示されている。 ○本文は常体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○歴史を学ぶ力を養うために、豊富で多様な発問で考える力を養えるように工夫されている。また因果関係を重視した詳しい記述や世界の歴史に関する充実した内容となっている。さらに高等学校の歴史学習につながる教科書として中学生の段階として必要なことが身に付くように配慮されている。 	

書名 項目	<h1>中学社会 歴史的分野</h1>	1 1 6 日 文
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、「確認」、「表現」で構成され、「確認」「表現」では、考えを説明させる問いが示されている。 ○小学校で履修した人物や出来事が欄外に記載され、新たな知識と紐づけるように工夫がされている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○1単位時間のまとめとして「表現」を行うことで、自分の考えを説明することで学習内容を理解できるよう工夫されている。 ○「チャレンジ歴史」では、習得した知識を生かし、対話することにより、歴史的表現力を高める工夫がされている。 ○各章の振り返りでは、STEP 1から3と分けられていて、思考ツールを活用することで思考、判断、表現ができるよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○現代的な諸課題の歴史的な背景や先人の取組に学ぶことができるようにテーマ別コラムや歴史的な事象を掘り下げる特設ページが設けられている。 ○歴史について「考える活動」を充実させるため、資料を読み取り、資料を選択させて生徒の興味に応じた活動ができるような取組が提示されている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各時代の導入では、年表や世界地図を使った時間軸と空間軸から時代を概観し、「単元を貫く問い」を明示して学習の見通しをもてるように工夫されている。 ○歴史の学習の最後「『歴史との対話』を未来に活かす」では、課題の解決に向けて歴史を踏まえて未来を考える学習活動が設けられている。 ○「『歴史との対話』を未来に活かす」や「先人に学ぶ」では、現代の課題の背景や人権、環境、平和、防災、減災への先人たちの取組を学び、解決の手立てについて生徒が歴史を踏まえて考えることができるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○見開きの上部に学習の導入となる写真資料や関心を高めるための地図が大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料の内容を読み取ったり、読み取ったことを基に表現したりする活動が示されている。 ○教科書内容の理解を助ける動画やワークシート等の教科書QRコンテンツをウェブサイトで公開し、教科書には「デジタルワーク」が表示されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○本文等には、UDフォントが使用されている。 ○1単位時間の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見通しをもつための学習課題と手がかり、学習内容を理解するための問いが示されている。 ○見開きの右端に学習している「時代」を色で示した年表が掲載されている。見開きの下部には小学校で学習した人物や地理・公民との連携が示されている。 ○本文は敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○教科書全体を通して、「歴史を楽しく、深く学び、未来を考えるコラム・特設ページ」が設定されており、「人物コラム」「各時代の女性」「地域に学ぶ」「歴史+α」等、時代に沿って学ぶだけではなく、未来のためのヒントや様々な視点で歴史を捉えることができるように配慮されている。 </p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい歴史教科書</h1>	225 自由社
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見開きを1単位時間とし、ページに導入資料、学習課題が記されている。また、語句の意味を確認するための索引ページが記載されている。 ○学習した知識を活用する「チャレンジ」では、本時で学んだ内容を整理できるよう工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「調べ学習のページ」では、各単元で学習した内容を、資料を基に更に深めることができ、思考・判断・表現ができるように工夫されている。 ○「時代の特徴を考えるページ」では、『「ミニ辞典」の作成』や『「ひとこと」作文』等を活用することで、深く思考・判断できるよう工夫されている。 ○「対話とまとめ図のページ」では、相互の関連や現在のつながり等に着目し、歴史的事象に対する思考力・判断力・表現力を深める工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○中学生のキャラクターが発問や気付き等学習の手がかりや示唆を提示することで、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○人物コラムを多数掲載している。また「人物を通して時代をとらえる」では生徒が人物の伝記を作ることによって人物を通して歴史を捉えさせる工夫がされている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各時代の導入では、小学校の振り返りから時代を概観し、その時代を象徴するような資料を明示して学習の見通しをもてるように工夫されている。 ○章末では、時代や人物を比較し、「ひとこと作文」により、時代ごとの特徴を大づかみにすることで、学習を積み重ねて課題追究ができるように構成されている。 ○日本の歴史の特色は何かを捉えるために「調べ学習」や「対話とまとめ図」が設けられ、歴史に関わる諸事象についての課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養えるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○見開きの上部に学習の中心となる資料と本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料ごとに吹き出しを付け、資料を読み取る視点が示されている。 ○本文を補足し、発展させるための様々なカテゴリーの教材が配置されており、また、資料に通し番号を付け、見やすい工夫がされている。 </p>	
表記・表現	<p> ○本文等には、UDフォントが使用されている。 ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習内容の定着のための2段階の課題が示されている。 ○見開きで学習している時期を示すスケールが入れられている。また、地理や公民の学習と関連が深い内容には、関連マークが付けられている。 ○本文は敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○全体を通して、「もっと知りたいコラム」が掲載されており、その時代の人物や時代背景をさらに掘り下げることで理解を深めることができるように工夫されている。また、高等学校の歴史学習につながる教科書として中学生の学習として必要なことが多面的・多角的に身に付くように配慮されている。 </p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい日本の歴史</h1>	227 育鵬社
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、学習のまとめで構成されている。資料活用のコラムもあり、知識を深める工夫がされている。 ○「確認」・「探究」では、学習した内容を整理し、習得した知識を表現しやすくなる工夫がされている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「見方・考え方」のコラムでは、グラフを読み取る力や論述する力を高めるため、発問の工夫がされている。 ○「資料活用」では、資料の特徴をまとめる判断力や知識をまとめ表現する力を養う工夫がされている。 ○章末「学習のまとめ」では、歴史的な見方・考え方を働かせて、時代の特色を自分の言葉や図で表現する学習活動が設けられている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各章の冒頭に時代の流れを大きくつかむための「歴史絵巻」を掲載し、学習する章のイメージを視覚的につかめるように工夫されている。 ○「私の歴史博物館をデザインしてみよう」では、生徒自身が博物館の学芸員になったつもりで展示方法を考え、時代の特色がつかめるように工夫されている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○見通しをもちながら学習を進めることができるように、見開きごとに資料を使い問題解決できるような学習課題が明示されている。 ○各章冒頭の「○○の世界へようこそ！」では、課題と主体的に向き合うための設問が設けられ、歴史に関わる諸事象についての課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養えるように工夫されている。 ○巻末「歴史学習のまとめ」では、学習した内容を活用して、日本の歴史を大観し、表現する学習活動が設けられている。 </p>	
資 料	<p> ○見開きの上部に学習の導入となる写真資料や関心を高めるための地図が大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。導入資料には発問を付け、資料を読み取る視点が示されている。 ○「日本の美の形」「歴史絵巻」等のページは、生徒が視覚的に興味をもって取り組めるように工夫されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○図版は、色覚特性を踏まえた判別しやすい色が使用されている。 ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習のまとめの二つの課題が示されている。 ○各章の章扉に「歴史絵巻」「歴史モノサシ」が掲載され、歴史の大きな流れと現在の学習範囲が確認できるように工夫されている。 ○本文は敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○教科書全体を通して、問題解決型の学習を実現する構成となっている。1時間の授業や単元の流れで、「課題をつかむ」「課題について調べる」「課題についてまとめる・表現する」という流れが示されており、主体的・対話的な学びを通して学習の定着が図れるように配慮されている。 </p>	

書名 項目	<h1>ともに学ぶ人間の歴史</h1>	229 学び舎
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、学習のまとめで構成されている。欄外には資料の補足があり、理解を深める工夫がされている。 ○「章の扉ページ」では、知識・技能の定着を図るために、ポイントが絞られ、歴史的事象と地理を結び付ける工夫がされている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「歴史を体験する」では、体験的な活動を行うことで、思考力・表現力を高めるための問いが設けられている。 ○「章をふりかえる」では、学習した歴史的な知識を表現できるように、設問が用意され、知識を活用できるよう工夫がされている。 ○「部の学習のまとめ」では、歴史的な見方・考え方を働かせ、各時代の特色を考察し、深い思考や表現につながる工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各章の冒頭では世界地図中に学習する時代の各地の様子や遺跡の写真、資料を掲示して、時代の概観を見渡して学習できるように工夫されている。 ○指導的な人物の紹介だけでなく、様々な分野・階層の人々の生活、社会的な業績を叙述し、市井の人々の労働や生き方を学べるように工夫されている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各時代の導入として、扉ページで各時代の「学習課題」が示されており、世界地図、写真等の資料から、時代の特色を考えていく構成になっている。 ○現代史を充実させ、歴史を今日の課題と結びつけ、よりよい社会の実現に向けて考え、公民学習につなげられるように工夫されている。 ○現代史の学習では、21世紀までテーマを設定し、歴史的な事象を今日の社会と結びつけ、よりよい日本の社会と世界の実現を視野に、様々な社会の課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養えるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○見開きの上部に学習意欲を高めるための導入資料や本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料には、出典や所蔵が掲載されている。 ○側注・グラフ・資料等から、歴史的な事象や課題について多面的・多角的に考えられるように工夫されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○地図・グラフは、色覚特性に配慮されている。 ○見開きの見出し・資料名は、フォントを変えて表記されている。見開きに生徒の関心を引き出すタイトルと見通しをもつための学習課題が示されている。 ○巻末の年表では、日本の社会・政治・経済の動きと日本の文化・宗教が世界の出来事と関連付けて掲載されている。 ○本文は敬体で記され、学年に応じた文章表現や漢字が使用されている。資料には、見開きで通し番号が付けられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面は、A判が採用されている。 ○全体を通して、疑問や問いが生まれやすいように図版や記述が工夫されている。また、主体的な学習を妨げないよう、本文の中の太字をなくす配慮がされている。歴史の中の女性に光を当てる、世界や東アジアから歴史を見る等多様な視点で歴史を学ぶことができるように配慮されている。 </p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">国史教科書</h1>	236 令書
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○1 単位時間がそれぞれの単元により、2～6 ページとし、学習課題、本文、文献史料で構成されている。欄外には資料の補足があり、理解を深める工夫がされている。 ○巻末に資料がまとめられていることで、時代による地域の変化や芸術作品の違い等が把握しやすくなるよう工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「考えよう」では、問いを設定し、ヒントも記載することで生徒間の対話を通じ、思考力・判断力・表現力を育む工夫がされている。 ○章のまとめでは、文章を作成する問いを設定することで時代区分の特色を表現できるように工夫されている。 ○思考チャートを活用し歴史的事象を多面的・多角的に捉え、思考を深められるよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○大まかに時代の概観をつかめるような章立てになっている。生徒がイメージをもちやすいようなイラストや記述が多く、歴史を体感的に学べるように工夫されている。 ○日本の歴史や地域史に重点が置かれ、参考文献や地域の特産品の紹介等、生徒が地域や日本の文化伝統に興味を湧くような工夫がされている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各時代の導入では、学習の見通しをもてるように年表から時代を概観し、「政治・外交・文化・産業」の問いを示し、時代の特色を考えていく構成になっている。 ○「field work」では、生徒が主体的に課題を追究し、多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ○巻末「ディスカッション」では、これからの社会を築いていくため、自分たちには何ができるかを考察・構想し、様々な角度や立場、多様性を踏まえた社会の成長を構想することを促すように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○1 単位時間ごとにコラムや文献資料が掲載されており、探究的な学習がしやすい工夫がされている。 ○毎時、学習課題が提示してあり、思考を促すための様々な形式の「ヒント」が明記されている。 ○天皇の継承図、世界王朝の年表、時代ごとの政治史や美術史等が一覧になっており、分野ごとに見やすい工夫がされている。 </p>	
表記・表現	<p> ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見通しをもつための学習課題が提示されている。 ○章末の年表では、日本の社会・政治・経済の動きと日本の文化・宗教が世界の出来事と関連付けて掲載されている。 ○本文は敬体で記され、開きごとに重要語句の解説が付いている。 ○読書する楽しみを提示するため縦書きを採用し、小見出しにも「いろは順」が用いられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面はA5版が採用されている。 ○歴史の連続性を実感できるように配慮されている。また、縦書きを採用しているので、教科書として歴史の真理を追い求める姿勢を育成する視点と、読書をするような感覚で歴史を楽しく学べる一冊の本という側面もあり、様々なアプローチで歴史を捉えることができるように配慮されている。 </p>	

社会科（歴史的分野） 調査資料2

○内容別ページ数等 ※教科書に記されているページ数の内訳を数えたもの

内容		東書	教出	帝国	山川	日文	自由社	育鵬社	学び舎	令書
A	(1) 私たちと歴史	10	24	6	3	4	7	12	6	9
	(2) 身近な地域の歴史	16	7	6	13	6	4	10	2	3
B	(1) 古代までの日本	40	39	46	44	46	50	40	44	102
	(2) 中世の日本	32	35	42	38	40	36	32	32	64
	(3) 近世の日本	44	47	54	50	50	44	50	50	86
C	(1) 近代の日本と世界	93	105	113	99	103	105	85	109	142
	(2) 現代の日本と世界	29	34	31	29	33	32	35	35	49
その他（資料ページ・索引）		23	7	16	12	25	25	28	21	7
総ページ数		287	298	314	288	307	303	292	299	462
QRコードの数		135	18	58	29	146	0	7	0	1

※総ページ数は目録に記載されたページ数

○基礎・基本の定着

(1)取り上げている主な歴史上の人物数

	東書	教出	帝国	山川	日文	自由社	育鵬社	学び舎	令書
古代まで	32	39	35	55	40	40	49	35	115
中世	67	85	79	110	65	65	56	34	85
近世	108	91	53	94	62	62	38	39	123
近代	101	94	85	93	70	70	71	40	115
現代	24	61	56	51	34	34	17	92	41
合計	332	370	308	403	271	271	231	240	479

(2)我が国の歴史的背景として取り上げている世界の歴史のページ数

	東書	教出	帝国	山川	日文	自由社	育鵬社	学び舎	令書
古代まで	10	12	10	12	12	10	8	16	15
中世	4	4	0	2	0	4	4	4	8
近世	4	8	6	10	4	8	8	12	5
近代	32	26	28	32	24	22	24	36	18
現代	4	6	8	6	10	2	4	8	11
合計	54	56	52	62	50	46	48	76	57

(世界の歴史を中心に構成されたページを数えたもの)

○言語活動の充実

(1)各時代を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現する学習

東書	○各章：○○○の学習をふり返り、まとめよう（確かめよう。/ふり返ろう。/節の問いを解決しよう。/探求課題を解決しよう。）
教出	○各章：学習のまとめと表現（○○の時代の移り変わりを確かめよう。/○○の政治や文化について説明しよう。/資料を読み解いて、○○の時代の特色を考えよう。）
帝国	○各章：章の学習を振り返ろう（節の振り返り/「章の問い」に対するあなたの考えをまとめよう。/「これからの社会を構想しよう」への準備）
山川	○各章：まとめ（節に対する問い）
日文	○編の学習を確認し、「○○○」の特色をつかもう
自由社	○時代の特徴を考えるページ 対話とまとめ図のページ
育鵬社	○各章：学習のまとめ（○○○の時代をふり返って考えてみよう）
学び舎	○各章：第○章をふりかえる/学習のまとめ/歴史を体験する
令書	○各章：まとめ学習（古代：表/中世：年表/近世：新聞/近代：ディベート/現代：ディスカッション）

○社会に参画する資質・能力の育成

(1)身近な地域の歴史を調べる活動（具体的な事項）

	内容
東書	「地域の歴史を調べよう」（大陸への玄関口 福岡/藩の政治と産業 会津/幕末を生きた先人たち 福井/明治維新のまちづくり 新潟/被爆建造物の保存と継承 広島）
教出	「身近な地域の歴史を調べよう」（東北地方の歴史を調べよう/中世の要塞都市を歩こう/沖縄の歴史を調べよう/北海道の歴史を調べよう/建造物から時代の特色を考えよう/移り変わる戦後の街を訪ねて）
帝国	「歴史を探ろう」（東アジアに開かれた窓口 博多/琉球とアイヌ民族の暮らし/昆布ロードと北前船/世界有数の百万都市 江戸/世界に開かれた港 横浜/移住と開拓が進む北海道/「絹の道」と日本の製糸業/発展する産業都市 大阪・神戸/長野県から見る満州移民/戦場となった沖縄/日本の領土確定と近隣諸国）
山川	「地域からのアプローチ」（奈良/福岡/平泉/金沢/札幌/広島）
日文	「出かけよう！地域調べ」（史跡見学に行こう 平城宮跡を歩く－奈良県奈良市－/歴史博物館に行こう 草戸千軒町遺跡を調べる－広島県福山市－/城下町を訪ねよう 城下町姫路を調べる－兵庫県姫路市－/近代にかかわる遺産を訪ねよう 手宮線跡地から町の発展を探る－北海道小樽市－/戦争遺跡を訪ねよう 多摩地域の空襲を調べる－東京都立川市・東大和市－/地域の環境の歴史を調べよう 公害克服の歴史を調べる－福岡県北九州市－）
自由社	「調べ学習のページ」（修学旅行で行く 奈良と京都/日本人の名字の由来を訪ねてみた/歩いてみよう！ 江戸の町/日本の近代産業発祥の地 長崎/原子爆弾の被害を考えよう！/新幹線の歴史を調べよう）
育鵬社	「地域の歴史を調べてみよう」（大阪の歴史・ワクワク調査隊/横浜の歴史・ワクワク調査隊）
学び舎	「地域の博物館で調べる」/「歴史を体験する」（地域の歴史を歩く/一人ひとりの歴史・家族の歴史）
令書	「field work」（身近な歴史を年表にまとめよう/展覧会に行こう/市町村歌を調べてみよう）

○埼玉県の歴史的事象 ※資料の出典が、埼玉県内の博物館等に所蔵されているものを含む。

	内容
東書	埼玉古墳群／金錯銘鉄剣／ホフマン輪窯六号窯／吉見百穴／見沼通船堀／ワカタケル大王（武）の名を刻んだ鉄剣（稲荷山古墳出土）／男衾三郎絵詞／長善館（川越藩校）／廃藩置県（入間・埼玉）／渋沢栄一／1号機関車（鉄道博物館）／秩父事件／増税に泣く国民（さいたま市立漫画会館）／旧国名地図（武蔵）／
教出	稲荷山古墳出土の鉄剣／男衾三郎絵詞／木の桶を作る職人（「職人尽絵」喜多院）／廃藩置県（入間・埼玉）／秩父事件／増税に泣く国民（さいたま市立漫画会館）／渋沢栄一／原爆の図（丸木美術館）／昔の国と、都道府県の対照図（武蔵）／各地の主な遺跡・史跡・できごと（稲荷山古墳・鉢形城・菅谷館跡・吉見百穴・秩父事件・高麗神社）
帝国	稲荷山古墳出土の鉄剣／稲荷山古墳／男衾三郎絵詞／結桶師（「職人尽絵」喜多院）／主な大名の配置（阿部）／江戸時代の交通（栗橋）／廃藩置県（入間・埼玉）／秩父事件／鉄道と生糸の輸出（熊谷・秩父鉄道）／渋沢栄一／重税に苦しむ国民（さいたま市立漫画会館）／東京停車場之図（さいたま市鉄道博物館）／歴史の舞台を訪ねよう（武蔵・稲荷山古墳・秩父）
山川	稲荷山古墳出土鉄剣／古代の行政区画（武蔵）／後醍醐天皇の宴会（「太平記絵巻」埼玉県立歴史と民俗の博物館）／廃藩置県（入間・埼玉）／渋沢栄一／
日文	稲荷山古墳／「獲加多支鹵大王」と刻まれた鉄剣（埼玉県稲荷山古墳出土）／男衾三郎絵詞／主な大名の配置（岩槻）／黒船を見物する民衆（「黒船来航風俗絵巻」埼玉県立歴史と民俗の博物館）／渋沢栄一／秩父事件／100年ほど前の田園調布（渋沢栄一らによって開発）／国県対照と五畿七道／主なできごと・史跡・関係地（秩父事件・稲荷山古墳）
自由社	旧国名と都道府県名（武蔵）／稲荷山古墳鉄剣銘文／復習問題のページ地図問題1（稲荷山遺跡）／鍛冶職人（「職人尽絵」喜多院）／大名たちの治水（北条氏房の荒川堰）／江戸初期の主な大名の配置（阿部）／廃藩置県による新しい府県（入間・埼玉）／渋沢栄一／日本人のノーベル賞受賞者（梶田隆章）
育鵬社	人形埴輪（埼玉県大里郡）／稲荷山古墳から出土した鉄剣／男衾三郎絵詞／機織り（「職人尽絵」喜多院）／江戸初期の主な大名の配置（阿部）／宗門改め帳（埼玉県立文書館）／大工職人たち（「川越三芳野天神縁起絵巻」川越氷川神社）／各地の主な特産物（川越そうめん）／主な藩校・私塾と寺子屋の数（長善館）／廃藩置県（入間・埼玉）／渋沢栄一／秩父事件
学び舎	稲荷山古墳出土の鉄剣／平城京までかかる日数（武蔵）／千早城に立てこもる楠木正成軍（「太平記絵巻」埼玉県立歴史と民俗の博物館）／綿花の主な生産地（武蔵）／黒船を見物する人（「黒船来航風俗絵巻」埼玉県立歴史と民俗の博物館）／武州世直し一揆／廃藩置県（入間・埼玉）／秩父事件／歴史地図（秩父事件・稲荷山古墳）
令書	稲荷山古墳出土鉄剣銘／さきたま古墳・行田古代米カレー／和同開珎（武蔵国秩父郡）／廃藩置県（入間・埼玉）／渋沢栄一／我が国出身のノーベル賞受賞者（梶田隆章）／大名の配置 寛文4年（阿部）